

令和8年度 成瀬地自治会連合会総会の開催報告

日時 令和8年4月10日（金）午後7時～
場所 成瀬公民館
参加者 成瀬地区19自治会
新旧自治会長26人

「共助の力」は当たり前前の生活、いざ！（災害・犯罪など）に必要不可欠であり、継続した活動無くして成り立ちません。

その達成に向け、誰かが先頭に立ち、行動しなければ物事は動かず解決しません。

成瀬地区19自治会・自治会長が心を合わせ一丸となり、活動の基本である「共助」「地域コミュニティ」を創造し、「住みやすい成瀬地区の実現」に向け、共に行動していく事を全員で確認しました。



社会環境の変化と共に多くの地域課題を抱えています。

頻発する自然災害や災害級酷暑、昨年末には本市でも日向山の林野火災も発生し全国的话题となりました。更に、闇バイトや悪質な訪問販売、空き巣等も身近で発生しており、地域全体で自然災害や犯罪抑止に向けた取り組みが求められています。

更に、住み慣れた街で安心して暮らせる環境づくりや、子供たちの見守りも地域全体で進める必要があります。

一昨年役員対象に実施したアンケートの結果から、役員の負担感が活動の阻害要因であることがデータで示され、役員の成手がいない、自治会に加入しない、民生委員・スポーツ推進委員等の役員選出が負担、自治会費、回覧・ゴミ問題等の役員の負担軽減にも取り組む必要があり、社会環境の変化を見据えながら、守るべき活動・見直す活動を明確にしながら取り組む事が大切です。

地域の皆さまに、自治会活動の必要性や大切さをご理解頂き「自治会があってよかった」と思える活動を積極的に推進・発信して参ります。

「自分たちが住む地域は自分たちの手で、共に頑張っていきましょう！」